

栗野岳登山

趣 旨 栗野岳(1,094m)登山を通して、自然の素晴らしさや美しさ、厳しさに直接ふれることにより、自然と人間とのかかわりを大切にする心情を培い、困難に打ち勝つ強さと、自然への畏敬の念を育てる機会とする。

| | | | |
|-----|---------------------------|------------------------|------------------------|
| 日程例 | 1 栗野岳登山コース | 2 大霧地熱発電所 栗野岳見晴台コース | 3 霧島アートの森 栗野岳見晴台コース |
| | 9:00 センター発 | 9:00 センター発 | 9:00 センター発 |
| | 9:30 枕木階段 | 9:30 大霧地熱発電所 | 9:30 枕木階段 |
| | 9:45 栗野岳登山口 | 10:45 (バス移動) | 10:50 モミジ原生林 |
| | 10:45 見晴台 | 11:00 枕木階段 | 11:00 見晴台 |
| | 11:20 山頂(昼食) | 12:20 モミジ原生林 | 12:30 枕木階段(昼食) |
| | 12:20 モミジ原生林 | 12:30 見晴台(昼食) | 13:15 霧島アートの森着 |
| | 13:40 枕木階段 | 14:30 枕木階段 | 14:40 霧島アートの森発 |
| | ※ 枕木階段からふれあいセンターまでバスで約40分 | | |

連 絡 ・ 荒天時の態度決定、登山開始時及び終了時、緊急事態発生時に連絡

危険箇所 見晴台から山頂にかけて急な岩場がある。足場を確認しながら進む。(ロープに頼らない)

無線交信可能地点 見晴台及び山頂

- 留意事項**
- (1) 引率指導者の指示を守る。
 - (2) 常に班で行動し、単独行動をしない。
 - (3) 体力に応じたペースで歩行し、適宜休憩をとる。
 - (4) 危険区域及び火口壁に近づかない。
 - (5) 落石を起こさない。
 - (6) 緊急事態が発生したら、直ちに近くの引率指導者に連絡する。
 - (7) 自然を大切にする。
 - (8) ゴミはすべて持ち帰る。

季節による見所等

<眺望、観察ポイント>

- ・ 栗野岳見晴台からの眺望
韓国岳を中心とした霧島連山、加久藤カルデラ内のえびの市街地、伊佐平野、錦江湾に浮かぶ桜島や高隈山系の山々。
- ・ 日本一の枕木階段
昭和63年に廃線となったJR山野線の枕木を利用して造られた「日本一の枕木階段」と展望台からの眺望。
- ・ モミジ原生林
ウリハダカエデ・シロモジ・ミズナラ等の紅葉。
- ・ 棕鳩十文学碑
「栗野岳の主」の舞台。文学碑は、枕木階段に隣接したレクリエーション村にある。
- ・ 霧島アートの森
栗野岳麓の標高700mの高原にある日本有数の現代彫刻美術館。国内外で活躍している現代作家たちのオリジナル作品が多数展示されている。
- ・ 大霧発電所
霧島連山と栗野岳に囲まれた丘陵地に位置する地熱発電所。

歴史等 約30万年前に活動が始まったとされる加久藤カルデラの外輪に位置し、約20万年前の火山活動でできた霧島連山でも最も古い山の一つです。長年の浸食でなだらかな山容になっており、明確な火口跡は見られません。江戸時代には、ミョウバンの鉱山がありました。

栗野岳登山コース

